

医療用品 4 整形用品
一般医療機器 整形外科用テープ
JMDN：32882000

3M™ チューブ固定パッチ

再使用禁止

【警告】

1. 使用方法

- 過度の濡れが予想されるチューブへの固定には使用しないこと〔固定が不十分でチューブが抜去される可能性があるため〕

【禁忌・禁止】

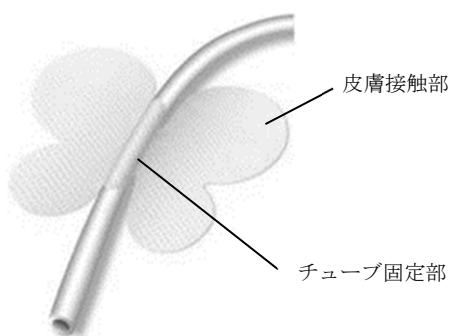
1. 使用方法

- 再使用禁止
- 再滅菌禁止
- 気管内チューブなどの重要なチューブの一次固定には使用しないこと〔固定が不十分でチューブが抜去される可能性があるため〕

【形状・構造及び原理等】

本品は、医療用チューブやカテーテルを皮膚に固定するための特殊な形状を有するテープである。ラージとスモールの 2 種類のサイズがあり、固定するチューブ等の径によって使い分ける。

1. 形状及び寸法



名称	機能
皮膚接触部	皮膚に貼り付ける部分
チューブ固定部	チューブに貼り付ける部分

仕様	寸法(縦 x 横)	推奨するチューブ外径
1500U(スモール)	4.3cm x 6.1cm	6～12 Fr
1501U(ラージ)	5.5cm x 9.0cm	12～24 Fr

人体に接触する部分の組成：シリコン粘着剤

2. 機能及び動作原理

本品は、医療用チューブやカテーテルを皮膚に固定するための特殊な形状と、皮膚及びチューブに適した粘着剤によって、患者に対して適切なチューブの固定を提供する。

【使用目的又は効果】

本品は、医療用チューブやカテーテルを皮膚に固定するために用いるプラスチック製のテープである。

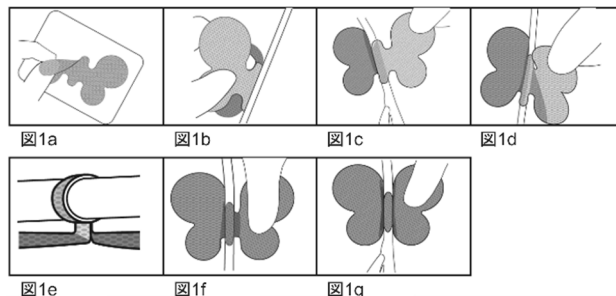
【使用方法等】

1. 準備

- チューブ固定部およびその周辺皮膚を施設で定められた方法で処置を行い、本品の貼付部位を選択する。
- 皮膚との接触を良好にするために、必要に応じて貼付部位を除毛する。
- 油分や皮脂を取り除き、良好な粘着力確保と皮膚障害の防止のため、皮膚やチューブは清拭し、乾燥させる。
- 被膜剤等を塗布した場合には、貼付前に乾燥させる。

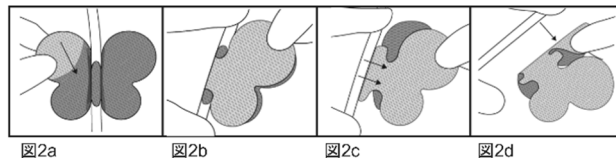
2. 使用方法

- ライナーを剥がす。〔図 1a〕
- 患者の皮膚にパッチの半分を貼る。〔図 1b〕 その際パッチに張力をかけて引き伸ばさないように注意する。
- チューブをパッチの中央部に合わせる。〔図 1c〕
- チューブの周囲にパッチを巻き付け、チューブが皮膚からわずかに浮いていることを確認する。〔図 1d、図 1e〕
- 患者の皮膚にパッチの残り半分を貼る。〔図 1f〕
- パッチと皮膚及びチューブの密着性を高めるために、パッチをしっかりと圧着する。〔図 1g〕



3. パッチの取り外し

- パッチの端を皮膚から剥がす。〔図 2a〕
- パッチの片側を皮膚からゆっくり剥がす。〔図 2b〕 皮膚から剥がす際には、粘着部を 180° に折り返し、皮膚をおさえながら、皮膚が引っ張られないようにゆっくりと剥がす。
- チューブを保持しながら、パッチからチューブを外す。〔図 2c〕
- パッチの残りの部分を皮膚からゆっくり剥がす。〔図 2d〕



＜使用方法等に関連する使用上の注意＞

- 適用部位は感染症やその他の合併症の徴候があるかどうかを確認すること。皮膚の異常（赤み、色調の変化、痛み、かゆみ等）が認められる場合は、本品をはがし、直接部位を観察して直ちに適切な処置を行うこと。
- 良好な粘着確保と皮膚障害の防止のため、排泄物、血液などを除去し、乾燥させた清潔な皮膚に本品を使用すること。また、皮膚に塗布した薬液等は完全に乾燥させてから本品を貼付すること。

【使用上の注意】**〈重要な基本的注意〉**

1. 適切な皮膚管理及び皮膚かぶれを最小限にするために、以下の点を守ること。
 - 1) 異常のある皮膚の上に本品を貼らないこと。
 - 2) 清拭等でまだ湿っている皮膚に本品を貼らないこと（完全に乾燥させる）。
 - 3) 定期的に本品の貼付部位を観察すること。
 - 4) 使用中、皮膚の異常があらわれた場合は直ちに使用を中止し、医師に相談すること。
2. 装着中のチューブに過度な操作を加えないこと。[過度の伸縮やつぶれ等によりチューブの変形や抜去につながる恐れがあるため]

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法
直射日光や高温多湿を避けて保管
2. 有効期限
使用期限は、本品の包装に記載 [自己認証（製造元データ）による]

*** 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】****製造販売業者**

スリーエム ジャパン イノベーション株式会社

3M は 3M 社の商標です。